

(4) 査読論文発表プログラム

10月31日(土)

第1セッション 9:30-10:45

司会 越山 健治(関西大学)

- 09:30 1 地震時室内状況把握のためのリアルタイム音情報解析
大久保 光(九州防衛局)
- 09:45 2 津波災害特別警戒区域の指定における住民の受容要因と指定促進のための方策の検討ー伊豆市土肥地域を対象としてー
渡辺 春菜(筑波大学)
- 10:00 3 高知県における木造住宅の耐震改修推進に向けた関係者間連携促進策に関する調査
河内 遥(名古屋工業大学)
- 10:15 4 震災の人的被害の定性的危険度導入・設定に関する考察
虫明 一郎(東洋大学大学院)
- 10:30 5 思考変化と移動経路を組み合わせた津波避難行動過程の分析:東日本大震災発生時の気仙沼市階上地区の事例
新家 杏奈(東北大学大学院)

休憩 10:45-11:00

第2セッション 11:00-12:00

司会 佐藤 翔輔(東北大学)

- 11:00 6 2016年熊本地震におけるスクールカウンセラー派遣に対する支援体制ーICSの観点からの検討ー
川瀬 公美子(徳島大学)
- 11:15 7 次世代火山防災リーダーの育成を目的とした住民主体の災害机上訓練のフレームワーク
高島 帆風(慶應義塾大学大学院)
- 11:30 8 固定効果モデルを用いた生活復興感研究ー2014・2015・2016・2017年名取市現況調査パネルデータを用いてー
松川 杏寧(人と防災未来センター)
- 11:45 9 災害対応力の向上に向けた駐車場のコミュニティ避難拠点としての活用可能性に関する研究
金 栽滸(東京大学生産技術研究所)

昼食 12:00-13:15

第3セッション 13:15-14:30

司会 佐伯 琢磨(神戸学院大学)

- 13:15 10 0才児が語る阪神・淡路大震災:震災学習世代の中間記憶と世代責任
高原 耕平(人と防災未来センター)
- 13:30 11 発災から50年経過した水害被災地の記憶と備えの実態分析:1967年羽越水害をまつりで傳承する新潟県関川村
門倉 七海(東北大学大学院)
- 13:45 12 東日本大震災の教訓は伝わっているのかー東北大学MOOC受講者を事例対象にした評価の試みー
渡邊 勇(東北大学大学院)
- 14:00 13 東日本大震災アーカイブの活用実態に関する調査分析
池田 真幸(防災科学技術研究所)

- 14:15 14 被災自治体の災害対応の課題・教訓を継承するための記録の作成及び訓練・研修の実施に関する実態把握
秋元 康男（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

休憩 14:30-14:45

第4セッション 14:45-16:15

司会 三浦 弘之（広島大学）

- 14:45 15 日本の5都市を対象とした内水氾濫リスクと都市規模の関係評価
中口 幸太（三菱電機株式会社神戸製作所）
- 15:00 16 地震火災における消防隊の消火活動を考慮した住民避難時の人的被害低減に関する基礎的研究
宮下 大祐（東京消防庁）
- 15:15 17 ベトナムの地域防災における住民参加の実態に関する研究—Thua Thien Hue 省の防災計画策定過程に着目して—
望月 聡之（京都大学大学院）
- 15:30 18 上海市民の水害防災行動の促進策に関する検討
張 郁涵（東京海上日動火災保険（中国）有限公司）
- 15:45 19 千葉県の高齢者入居施設における令和元年台風15号への対応と事業継続との関連
大塚 理加（防災科学技術研究所）
- 16:00 20 平成28年熊本地震での福祉施設の災害対応業務と避難者受入の関係
木作 尚子（人と防災未来センター）

休憩 16:15-16:30

第5セッション 16:30-18:00

司会 中林 啓修（国土舘大学）

- 16:30 21 「避難所運営マニュアル」の構成と項目に関する研究—全国自治体質問紙調査から—
有吉 恭子（吹田市危機管理部）
- 16:45 22 基礎レベル地域防災人材育成講座向けルーブリックの作成と評価
小関 貴徳（岐阜大学大学院）
- 17:00 23 災害マネジメント総括支援員等が執る災害対応プロセスの分析-
藤原 宏之（人と防災未来センター）
- 17:15 24 地方自治体の災害対応における人員配置の最適化に向けたシミュレーション手法の開発
井上 雅志（(株)エイト日本技術開発）
- 17:30 25 自治体職員配備と調整に関わる中核市の災害対策本部体制の比較分析
首藤 広樹（兵庫県立大学大学院）
- 17:45 26 大規模河川氾濫による浸水想定区域からの脱出を一義的目標とした避難計画の効果に関する基礎的研究
蒲倉 光（筑波大学）

終了予定 18:00

11月1日(日)

第6セッション 9:30-10:45

司会 小林 秀行(明治大学)

- 09:30 27 基礎自治体における職員向け防災研修の実態から考える県域を対象とした研修の役割
荒木 裕子(名古屋大学減災連携研究センター)
- 09:45 28 発災初動期における効果的な応援・受援体制の確立に向けた検討
沼田 宗純(東京大学)
- 10:00 29 災害対応担当者が必要とされる能力向上を目指した新規図上演習の開発とその効果測定
辻岡 綾(人と防災未来センター)
- 10:15 30 オペレーションレベルにおけるトモダチ作戦の検討—将来の米軍による日本国内での災害救援を見据えて—
中林 啓修(国土舘大学)
- 10:30 31 広域物資輸送拠点と地域内輸送拠点の兼用による効果評価と改善提案～令和元年台風第19号災害の長野県における物資拠点運営事例から～
宇田川 真之(防災科学技術研究所)

休憩 10:45-11:00

第7セッション 11:00-12:00

司会 稲垣 景子(横浜国立大学)

- 11:00 32 中学生が行う被災体験の聞き取り学習に関する分析：階上中学校における東日本大震災を対象にした災害伝承の学習事例
佐藤 翔輔(東北大学)
- 11:15 33 福島原子力発電所事故後の双葉郡住民の精神的健康状態の社会的要因—2017年第2回双葉郡住民実態調査の分析—
佐藤 慶一(専修大学)
- 11:30 34 復興まちづくりについて考える啓発ツールとしてのボードゲームの効果—事前復興ワークショップ参加者の追跡調査を通して—
金 玟淑(京都大学)
- 11:45 35 被災前の世帯の社会的脆弱性がすまいの再建に与える影響
川見 文紀(同志社大学大学院)

昼食 12:00-13:15

第8セッション 13:15-14:15

司会 越村 俊一(東北大学)

- 13:15 36 2018年7月豪雨災害における広島県での土石流による被害地域と土砂災害警戒区域の空間分析
三浦 弘之(広島大学)
- 13:30 37 病院の電源喪失対策に関する評価手法の提案—台風21号(2018)・北海道胆振東部地震における院内発生事案を基に—
池内 淳子(摂南大学)
- 13:45 38 拡張現実を用いた富士山火山ハザードマップ
小檜山 雅之(慶應義塾大学)
- 14:00 39 地震時損傷モニタリングデータを用いたベイズ推定による建物損傷評価
山田 哲也(三井住友建設株式会社)

休憩 14:15-14:30

第9セッション 14:30-15:45

司会 木村 玲欧 (兵庫県立大学)

14:30 40 高齢者施設における水害時の避難誘導體制に関する一考察
金井 純子 (徳島大学)

14:45 41 首都直下地震後の日本経済の中長期予測と最悪シナリオ
永松 伸吾 (関西大学)

15:00 42 災害情報の裏命題：リスク情報が安全情報として理解されるメカニズム
秦 康範 (山梨大学)

15:15 43 犯罪多発地点の集中パトロールにおける犯罪抑止効果の評価実験
野 貴泰 (警察庁)

15:30 44 流通環境の変化に伴う農産品の地域間流動の特性分析～自然災害を事例として
土屋 哲 (鳥取大学)

15:50-16:10 論文奨励賞発表

16:10-16:20 閉会式